

支援する会ニュース

2022. 5. 26 NO. 82

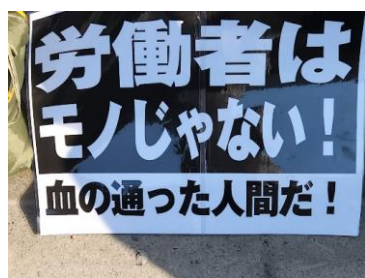
韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支部
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3 階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

6・24 株主総会に向け、抗議の声をぶつけよう！！

5 月 19 日に第 81 回木曜行動がのべ 90 人余の参加で行われました。行動後にはサンケン電気のパートナー会社・サンシン電気への要請行動も行われました。5 月 23 日には埼玉市民の会の本社前スタンディング行動が行われ、この日もパートナー会社の小森電機と大和無線電機の要請行動が行われました。韓国・昌原での籠城はまもなく 700 日、ソウルは 100 日を越えました。以下は木曜行動の報告です。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からオヘジンさんがサンケン電気は「労働者の全く当たり前の要求を無視し続け、これまで私たちと結んできた合意や約束を一つ

つも守らずに破り続けている。また労働者に対する無視と労働運動に対する弾圧、民族差別についてもサンケン電気は何ひとつ変化はない。サンケン電気は表向きは人権を守る、労働者を尊重すると言っているが、実際にはただの一度もそんなことを実施したことはない」と訴えました。キムミョンデさんも「日本へ来られるようになったら、サンケン電気本社前で 24 時間の籠城闘争を行うつもりだ。サンケン電気が自らの利益だけを迫り及して私たちをないがしろにしたことに対して、私は全身をもって本社前の闘争を行うつもりだ」と遠征闘争への決意を語りました。韓国からはキムウニョンさんもアピール。埼玉市民の会、旭ダイヤ労組のアピールと続き、シュプレヒコールで志木駅へ。

〔志木駅南口前〕



埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からイヘミンさんが子供の日にソウルの闘いのため子供と過ごせなかったと語り、「今年の 5 月数えて 6 歳の子供が私に言った。お母さん何時仕事に戻るの。今年の子どもの日はテントに行かないで僕と一緒に過ごしてね、と言った。この様な家庭

の幸福をずたずたに踏みにじるサンケン電気に対して、皆さん、是非とも抗議の声を寄せてください」とアピールしました。ヤンソンモさんも「私達はサンケン電

気経営陣に対して何も過大な無理な要求をしている訳ではない。どんな結果が出るにせよ、まず問題の解決を当事者である私達労働者と直接話し合い解決するよう要求しているだけだ」と団交を要求しました。韓国からはキムウニョンさんもアピールしました。サンケン太郎が『翼をください』(写真左下)、ゆいの会の『アリラン』、明大生協労組の発言で行動を終了しました。

〔池袋・東京事務所前〕

渡辺共同代表の挨拶でスタート。韓国からオヘジンさんが「あの巨大なアメリカが今崩れていくように、どんな強い相手であっても結局は滅んでいく。だからこそサンケン電気に対する闘いはやめられないと思っている。今回の皆さんとの日韓連帯の闘いも、新しい歴史に記録されていくだろう。そしてこの闘いを最後まで皆さんと共に進めていきたい。皆さんとお会いして共に闘うその日を心待ちにしている」とアピールしました。日本の支援側からは山日労、全労働者組合、学研・ふじせ、刑法改悪と闘う仲間、支援する会、女闘労倶楽部のリレートークと歌が披露され、怒りのシュプレヒコールで終了しました。



尾澤裁判の勝利に向けて

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。次回の公判前手続は 6 月 6 日の予定です。いよいよ初公判日の確定が近づいています。署名活動は支援する会までご連絡下さい。

尾澤さんは各種集会などに参加してサンケン闘争支援を訴えています。5 月 28 日(土)13 時から HOWS の講座で報告予定、KBS 特番も放映予定です。